

2020年度 事業報告



一般社団法人 地上放送RMP管理センター
(TRMP)

一般社団法人 地上放送RMP管理センター 2020年度事業報告

【2020年4月1日～2021年3月31日】

1. 事業報告〔概要〕

地上放送 RMP 方式（TRMP 方式）に対応した地上デジタル放送受信機は、スマートフォンやカーナビゲーションシステムなどの移動受信機を中心に、順調に普及している。

2017 年度に発覚した ARIB 規格外受信機は、いずれもメーカーが設計・開発・製造を海外法人に委託（海外親会社を含む）しているケースであり、調査の結果、関係当事者の ARIB 規格に対する理解不足に起因していることがわかった。2020 年度は、前年度に引き続き、受信機メーカーによる修正を継続しつつ、未然防止策として、新規メーカーとのライセンス契約締結時や TRMP 方式搭載受信機のテストベッドなどの機会に、きめ細かく対応すべく、準備してきた。

近年新規にライセンス契約を求めてくるメーカー数は減少し、暗号鍵を発行・管理するサーバー「鍵管理システム」の稼働時間も大幅に低減しているが、一方で機器の老朽化が著しいため、現在運用中の「鍵管理システム」を再リリースすることで負担軽減を図りつつ、次期システムへの更新計画を進めた。

また、RMP データの重要性を再認識するよう、啓蒙活動に努めるとともに、その管理状況についても確認した。

新しい働き方への対応については、新型コロナウイルス感染拡大に対してテレワークを実現するために、就業規則等を見直し、制度および環境の整備を行った。

2021 年度も引き続き、TRMP 方式の安定運用という責任を果たし、地上デジタル放送の発展に貢献していく。

2. 各部の事業報告

2-1 技術部

TRMP 方式の安定運用と信頼性の確保を目標に、効率的な「鍵管理システム」の運用を心掛け、システムの更新計画について「鍵管理システム更新 TG」を設置し、計画をより具体化すると共に、必要となる経費を算出した。ARIB 規格外受信機の不具合については、ほぼ修正作業は飽和状態に近づき、完了まで促進させるよう継続した対応を行った。TRMP 方式対応受信機普及のため、新規契約を希望するメーカーについて、適切な対応を行った。

① 「鍵管理システム更新TG」の設置と更新計画の検討

「鍵管理システム」は、設備導入より運用想定期間である7年以上経過し、老朽化も顕著なため、技術委員会傘下に「鍵管理システム更新TG」を設置し、更新計画について時期や設備詳細、費用について検討、具体化した。「鍵管理システム」の延命と並行して、次期システムへの更新作業を継続中である。

② 「鍵管理システム」の延命施策・メンテナンス方法の改善

現在運用中の「鍵管理システム」は、なるべく長く使用できるように、ハード面において延命施策を施しつつ、更新が必要な機器については個別対応した。セキュリティ、コストとのバランス等を考慮しながら、現状の運用実績に見合ったメンテナンスを実施した。

③ ライセンス契約済み受信機メーカーへの適切な対応

契約に基づき、TRMP 方式対応受信機の出荷情報等の提出の徹底を図った。特に2017年度に発生したARIB規格外受信機については、ほぼ修正は飽和状態に近づいているが、完了まで促進させるよう、継続した対応を行った。新しい製造スキームなどに対してもアドバイスをを行うなど適切なフォローを実施した。

④ 新規メーカーへのライセンス契約対応とテストベッド提供

ライセンス契約を希望するメーカーに対し、技術的スタンスから説明を行い、総務経理部と連携して適切に契約手続を進めた。鍵更新機能等の動作検証を行えるテスト環境（テストベッド）の活用を契約済みメーカーに促し、トラブルの未然防止を図った。

⑤ 技術委員会、「鍵管理システム更新TG」の運営

技術委員会や「鍵管理システム更新TG」との連携を図り、委員会等の適切な運営を図った。「鍵管理システム」の運用や更新計画、メンテナンス方法について検討を深めた。

2-2 総務経理部

契約済受信機メーカーとの適切な関係の維持、およびシステムの安定性と信頼性を確保することに取り組むため、以下の施策を実施し、地上デジタル放送のインフラを支えるコストセンターを意識して、効果的かつ効率的な事業運営に努めた。

(1) 総務関連

① 社員総会・理事会等関連会議の円滑な運営

総務経理部が事務局を務める、社員総会、評議委員会、理事会、運営委員会等の運営にあたり、全国の会員社、委員会委員、関係する事業者等と密接な連携を図り、効果的かつ効率的な運営を行った。

② ライセンス契約済受信機メーカーへの適切な対応

TRMP方式の安定運用に向けて、技術部と連携し、契約先の正当性および鍵情報等の秘密情報の適正な管理に留意すると共に、出荷前報告等によるTRMP方式搭載受信機の把握に努め、適切な対応・フォローを行うことでトラブルの未然防止を図った。

③ 新規メーカーへのライセンス契約対応

新規のライセンス契約については、引き続き技術部と連携し、国内外の様々な形態の受信機メーカーに対して、透明性や公平性を確保した上で、個別説明から審査、契約までの対応を機動的かつ厳正に行い、適正なライセンス契約に向けて取り組んだ。

④ TRMP管理センター業務内容の見直し

これまで蓄積してきたメーカー対応のノウハウやコンテンツ保護に関連する各種情報をベースに、技術・契約・情報管理・提供等の事務局機能の整理・充実を図るために、技術部と連携し、適宜業務内容の見直しを行った。

⑤ 的確な周知広報活動の実施

TRMP管理センターの透明性、公共性を確保した事業運営について、ホームページの活用を通じて、的確な周知広報活動を行うため、随時アップデート作業を行った。

(2) 経理関連

TRMP 方式の安定運用及び信頼性確保に資するため、予算を的確に執行するよう、適正な会計処理を徹底した。また、今後の事業動向を踏まえ、予算管理を厳格に行い、適宜運営経費の精査を行い、監査への確実な対応に努めた。

2-3 その他

TRMP 管理センターの透明性、公益性、非営利性の確保に向けて、常に、コンプライアンスとガバナンスを意識し、評議委員会を活用した法人運営に努めた。

以上

(参 考)

定款上の事業	事業内容
コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報のライセンス発行	<ul style="list-style-type: none">受信機メーカーへのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務放送事業者へのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務
コンテンツ権利保護専用方式の鍵情報の管理、更新及びデータベースの運用	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵管理システムの開発、調達に関わる業務コンテンツ権利保護専用方式に係るテストストリーム、テスト鍵の発行に関わる業務
コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策に関する検討
コンテンツ権利保護専用方式の周知・広報	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式の周知・広報に関わる業務
上記業務に付帯する、目的を達成するために必要な事業	<ul style="list-style-type: none">運営委員会の運営評議委員会の運営関係事業者との連絡、調整、経費支払い関係事務

3. 会員の状況及び法人の運営

3-1. 会員の状況

区 分	2019年 3月31日現在	2020年 3月31日現在	2021年 3月31日現在
正 会 員	1 2 8 社・法人	1 2 8 社・法人	1 2 8 社・法人
賛助会員	1 社・法人	1 社・法人	1 社・法人
合 計	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人

3-2. TRMPの運営

2020年度に開催された公式会議と議案は以下の通り。

区 分	回 数	開催日
総 会	第 15 回	2020年6月19日
	第 16 回 (臨時・WEB)	2021年3月11日
理事会	第 62 回 (メール)	2020年5月26日
	第 63 回 (メール)	2020年5月27日
	第 64 回 (メール)	2020年6月19日
	第 65 回 (WEB)	2020年12月18日
	第 66 回 (WEB)	2021年2月19日
	第 67 回 (WEB)	2021年3月11日
運営委員会	第 35 回 (メール)	2020年5月19日
	第 36 回 (WEB)	2020年11月19日
	第 37 回 (WEB)	2021年2月9日
評議委員会	第 10 回 (メール)	2021年3月29日

※上記の他、技術委員会を開催した。